

## 令和5年度 一般財団法人鳥取県観光事業団事業計画

### 1 基本方針

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、イベント等サービス事業の再開、人数制限の撤廃などがされ、利用者数、収入とも増加し、回復基調を感じる事ができた。一方で行政の観光支援策による利用者数の底上げ効果が期待されるものの、縮小した航空便など旅客輸送の回復に時間がかかることも見込まれるため、コロナ禍以前の状況に戻るにはまだ期間を要すると思われる。

今年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後も基本的な感染防止対策は引き続き一定程度実施する必要があると思われる。コロナ禍での観光のあり方、職員の働き方など、この3年間模索し培ってきた新しい時代にあった取り組みを更に進化させ、観光事業団全体で推進していくとともに、関係者の支援をいただきながら鳥取県とも連携し、より一層経営の健全化、お客様満足度の向上を目指し、困難な状況を乗り切る。

働き方改革や健康経営にも継続して取り組むほか、研修等の充実を図ることで人材育成を進め、施設を超えた職員の連携を促進し、観光事業団の組織力、ブランド力を向上させ、着実に課題に取り組んでいく。また、全施設の次期指定管理の確実な受託のため、事業団挙げて全力で取り組む。

### 2 集客目標

施設名	R 5 年度		R 4 年度		対比	
	通常時(A)	コロナ時(B)	通常時(C)	コロナ時(D)	(A)/(C)	(B)/(D)
こどもの国	160,000	128,000	150,000	100,000	106.6%	128.0%
かにっこ館	225,000	195,000	225,000	175,000	100.0%	111.4%
響の森	47,000	44,650	45,000	42,750	104.4%	104.4%
臨海公園	324,000	275,000	378,000	291,000	85.7%	94.5%
燕趙園	65,000	52,000	65,000	42,000	100.0%	123.8%
梨記念館	115,000	100,000	108,000	80,000	106.4%	125.0%
タワー	100,000	65,000	100,000	38,000	100.0%	171.0%
花回廊	350,000	310,000	350,000	305,000	100.0%	101.6%
合計	1,386,000	1,169,650	1,421,000	1,073,750	97.5%	108.9%

## 令和5年度 事務局本部事業計画

### 1 管理運営の基本方針

#### (1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・施設共通事業の実施、施設事業の支援等によるサービス向上推進と利用促進

#### (2) 観光振興への寄与

- ・鳥取県や観光関連団体との連携強化による観光振興への寄与

### 2 令和4年度重点項目の成果等

#### (1) 働きやすい職場環境づくり

**コロナ禍の中だが、職員が働きやすい職場環境を整える。**

- ・コロナ感染時の対応と、感染疑い時等の特別休暇制度を感染状況によって都度改正し、より休みやすい環境と感染防止体制を作った。
- ・年末調整システムを導入し業務を効率化したほか、勤怠管理システムの導入の準備を行った。

#### (2) 職員のレベルアップのための研修の見直しについて

**職員個々のレベルアップを図ることで、事業団全体のレベルアップを図る。**

- ・専門業者による階層別研修、外部研修、職員によるオリジナル研修、各施設での実務研修等を実施し職員のレベルアップに貢献した。

#### (3) SNS や YouTube を活用した広報活動の推進

- ・SNS、YouTube、LINE 等による発信も定着し施設が特性に合った方法で広報に活用し、フォロワーが増加したりフォトコンテストなどの企画が好評を博している。
- ・SNS分析ツールや、アナリティクスを活用し広報の効果の検討を行った。

### 3 令和5年度に取り組む重点項目

#### (1) 次期指定管理者制度応募への取り組み

**各施設の魅力向上、業務改善の支援（バックアップ）と組織力と効率を高めるための一元的統括（マネジメント）を行い、次期指定管理の確実な受託を目指す**

#### (2) 働きやすい職場環境づくりの推進

- ・業務規程の見直しや、勤怠管理システム導入等による業務効率化などで更に働きやすい環境整備を進める。

#### (3) 人材育成制度の充実

- ・人事評価制度、研修計画、育成計画の検討など人材育成制度の運用方法を改善しPDC Aサイクルを構築することで組織の活性化を図る。

#### (4) ウイズコロナ、ポストコロナの集客促進対策

- ・コロナ禍で蓄積したノウハウを活かし、電子決済等の非接触ツールの活用など感染防止策をとった安全安心なサービス提供を支援
- ・行政の観光支援策の終了後に備え、事業団内の集客キャンペーンや関係団体と連携した集客対策を検討
- ・増加が予想されるインバウンドについては、県の施策や国際便の再開等の動向を注視しながら積極的な商談会参加等で誘客を図る。

### 4 令和5年度その他の取組項目等

鳥取県の所管課と緊密に連携した、迅速な課題解決

### 5 その他

各施設の収支状況を把握し、施設協議の上、事業予算の執行について優先順位をつけた事業運営を進める。

## 令和5年度 鳥取砂丘こどもの国事業計画

<p><b>1 管理運営の基本方針</b></p> <p>(1) <b>利用者へのサービスの提供と利用促進</b> 児童の健全育成に資する魅力ある事業の実施</p> <p>(2) <b>観光振興への寄与</b> 鳥取市内の観光施設及び鳥取砂丘施設との連携強化</p> <p>(3) <b>安心して遊べる環境</b> 日常・保守点検の充実と迅速な修繕</p> <p>(4) <b>自然とふれあう場所の提供</b> 樹林地の整備</p>
<p><b>2 令和4年度重点項目の成果等</b></p> <p>(1) <b>花の丘造成について</b> 4年度はチューリップを展開したが、まばらに開花してしまいもの足りない景色となったが、球根堀のイベントは盛況で、賑わいを創出できた。</p> <p>(2) <b>ぼうけんアスレチックコースの新設及び樹林地整備について</b> 4基目の遊具を設置。設置場所に遊具が増え、目につくようになり利用が増えてきた印象はあるが、イベント利用の活用が不十分だった。</p> <p>(3) <b>真夏のスケートイベントについて</b> コロナ感染防止のため中止</p> <p>(4) <b>星空イベントについて</b> モバイルプラネタリウムを設置し、感染対策をとり開催。世代を超え楽しんでいただけた。物販やスタッフ手作りの参加者プレゼントも行い好評。</p>
<p><b>3 令和5年度に取り組む重点項目</b></p> <p>(1) <b>花の丘造成、花壇整備</b> 5年度はひまわりを展開、夏に楽しんでいただく。また50周年を華やかに迎えるよう、駐車場周辺と園内に花壇を整備する。</p> <p>(2) <b>ぼうけんアスレチックコースの新設及び樹林地整備</b> 樹林地に木製アスレチック遊具を設置。5基目。樹林地での遊びイベントで利活用を図る。</p> <p>(3) <b>星空イベントについて</b> 50周年イヤーに、かつてあったプラネタリウムを思い出してもらい、子どもには新たな楽しみを体験してもらおう。</p> <p>(4) <b>真夏のスケートイベント</b> お盆期間に樹脂製スケートリンクを設置し、夏期に珍しい体験イベント。</p> <p>(5) <b>こどもの国50周年記念フェスタ</b> 50周年イヤーのPR・周知を図るための記念イベントを、四半期ごとに実施する。各種団体との連携イベント、動物関連、食、子育てイベントの開催を計画。</p> <p>(6) <b>SDGs 砂丘クリーンウォーク</b> 砂丘海岸線の漂着ゴミの回収。合わせて、砂丘ガイドに砂丘についての歴史等学ぶウォーキングイベントを開催。参加者と一緒にSDGsに取り組む。</p>
<p><b>4 令和5年度その他の取組項目等</b></p> <p>(1) <b>食育イベント「マルコラ」の開催（6月上旬）</b></p>
<p><b>5 その他</b></p>

## 令和5年度 とっとり賀露かっこ館事業計画

### 1 管理運営の基本方針

#### (1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・関係団体等とも共同でサービスの充実や魅力あるイベントの開催による集客の促進

#### (2) 観光振興への寄与

- ・賀露地域の方々と一体となった事業の実施による地域の賑わいの創出

#### (3) 水産振興への寄与

- ・イベント・展示を通じ、カニを中心とした鳥取県の水産資源の魅力を発信

### 2 令和4年度重点項目の成果等

#### (1) 新型コロナウイルス感染症対策飼育業務委託

- ・有事の際は飼育業務の一部を県水産振興課に依頼するため業務レクチャーを実施
- ・有事は無く実施しなかったが、有事に備え定期的にレクチャーを行う必要あり。

#### (2) バックヤードミニツアー

- ・冬場の魅力向上対策と収益確保のため実施
- ・利用者が少ないことと、利用希望が多くても、時間当たりの収益が少ない
- ・効果的な広報と収益確保が課題。(収益確保についての課題解決は3-(2))

#### (3) 週末早得プレゼント

- ・規制人数を増やし、規制時間帯が大幅に減ったことと、経費節減ため未実施

### 3 令和5年度に取り組む重点項目

#### (1) 【新】20周年記念事業

- ・周辺施設を活用し賀露地域全体を盛り上げていくよう記念式典の実施・ノベルティグッズの配布・イベントを実施する。

#### (2) 【新】タッチングイベント ←2(2)

- ・毎日開催の有料のイベントとして定着を図る

#### (3) 【新】かっこマルシェ

- ・かっこ館と芝生の広場の利用促進を図る為、実施
- ・春と秋の週末に、「海」「魚」「蟹」をキーワードに出店者を募集し、周辺の賑わいの創出も図る

### 4 令和5年度その他の取組項目等

#### (1) 【充実】地元自治会や子ども会との連携（芝生の広場や海水浴場で事業実施）

#### (2) 【充実】ヒラメの放流事業

### 5 その他

- ・水生生物飼育にかかる人材育成。職員全体の飼育技術引き上げと専門家の養成。

## 令和5年度 氷ノ山自然ふれあい館事業計画

### 1 管理運営の基本方針

#### (1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

- ・氷ノ山の魅力発信(ビジターセンター)と優れた環境教育(自然体験プログラム)の実施。
- ・鳥取県東部幼稚園、小学校、公民館等への営業やSNSによる情報発信。

#### (2) 観光振興への寄与

- ・地元の観光資源、自然資源を活用したイベントやエコツアー等の実施。
- ・地元団体等と連携したイベント等の取り組み。

#### (3) 氷ノ山の環境保全への取組

- ・自然情報の調査や希少植物の保全、豊かな生態系の保全活動への取組。

### 2 令和4年度重点項目の成果等

#### (1) 春(GW)、夏、秋の特別企画等の開催について

- ・GW「ネイチャーキッズフェスティバル」は、会場変更で昨年より入込数は減ったが、アウトドアクッキングや建物外壁を用いたクライミング等が好評。夏休み特別企画「いきもの、バンザイ！」では、国立科学博物館の出張展示等で生物多様性の大切さや保全への取り組みを紹介し、観覧者数が昨年より約3割増。秋の特別企画「写真家宮崎学氏の動物写真展」は人と動物との関わりを問題提起する等して入込数は前年対比約90%。シンポジウムをオンラインでのライブ配信やYouTube公開で発信した。

#### (2) エコツアーの利用について

- ・主に夏のシャワークライミング等が好調で参加料収入が増えた。

#### (3) わかさ氷ノ山・山フェスの開催について

- ・実行委委員会事務局を引き受け、ステージイベントやグルメ屋台・ワークショップ・キッズコーナーを開催して約1,300人の入り込み。

### 3 令和5年度に取り組む重点項目

#### (1) 春(GW)、夏、秋の特別企画等の開催について

- ・GW「ネイチャーキッズフェスティバル」では自然物を用いたゲームコーナー等、夏休みは雲など気象に関する展示や講演等、秋はヤマネに関する展示や講演等を実施予定。

#### (2) 定例イベント(自然体験プログラム)について

- ・地元の方の協力を得て棚田での稲作や自然観察を行う「棚田プロジェクト」【新】

#### (3) わかさ氷ノ山・山フェスの開催について

- ・実行委員会事務局を担う。ステージイベント、飲食屋台やワークショップを開催し、氷ノ山の魅力を発信し賑わいを創出する。

### 4 令和5年度その他の取組項目等

#### (1) 氷ノ山の環境保全への取組について…響の森クルー(ボランティア)参加者等

- ・コキンバイ保護管理事業(鳥取県補助金事業)【継続】
- ・わかさ氷ノ山自然ふれあいロード(イモリ等が生息する側溝)の環境整備【継続】
- ・チョウのモニタリング調査【新規】

### 5 その他

## 令和5年度 東郷湖羽合臨海公園事業計画

### 1 管理運営の基本方針

- (1)利用者へのサービスの提供と利用促進
- (2)観光振興への寄与
- (3)新たな視点による公園づくり
- (4)住民ニーズに対応したイベント開催、地域貢献
- (5)安全・安心に配慮した公園管理

### 2 令和4年度重点項目の成果等

#### (1) 長和田地区未整備地整備

所管課との協議により当初計画から変更。長和田地区の芝桜植栽の拡張を実施

#### (2) 樹木の間伐及び生育不良木の植替

計画通り実施

#### (3) Sea side マラニック in 臨海公園

参加者は16名。次年度は手軽に参加できるウォーキング大会の充実を図る。

#### (4) SDGs フリーマーケット

「秋フェス」と銘打ってスケートボード大会等とあわせて開催。約1,000人の来場者があり盛況だった。

#### (5) SDGs クリーンウォーク

前年度に引き続き実施。参加者には好評だったが、開催時期も含め参加者の増加に課題

### 3 令和5年度に取り組む重点項目

#### (1) 公園づくり事業

4年度に予定していた長和田未整備地整備とあやめ池駐車場の整備を予定

#### (2) スケートボード教室及び大会

スケートパークの利用促進、マナー向上のため月1回程度の教室を実施し最後に大会を開催

#### (3) 秋フェス開催

南谷地区においてスケートボード大会、ステージイベント、フリーマーケットを合わせたイベントを開催。4年度に引き続き実施

#### (4) 「花の街道づくり」事業

湯梨浜町の東郷湖周景観向上のため花木を植栽する事業に協力し、浅津公園内に花木を植栽(樹種等は湯梨浜町未来創造会議で協議)

#### (5) バタフライガーデン観察会・作業体験会

浅津地区のバタフライガーデンを地域の方に知って愛着を持っていただく参加型イベントを実施

### 4 令和5年度その他の取組項目等

- (1) 東郷湖ウォーキング大会の開催(春・秋2回、各150人程度を目標)

### 5 その他

- ・南谷多目的広場の利用について、4月から時間料金制に移行する。(現在は占有利用許可申請を県に提出し都度許可)。あわせてサッカーゴールを設置しサッカー利用の需要に応える。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、感染対策に係る運用を修正する。

## 令和5年度 中国庭園燕趙園事業計画

<p><b>1 管理運営の基本方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進</li><li>(2) 観光振興への寄与</li><li>(3) 中国文化の発信</li><li>(4) 地域連携</li></ul>
<p><b>2 令和4年度重点項目の成果等</b></p> <p>(1) <b>夏休み特別イベント「こども忍者道場」について (37日間、10,005人)</b> 途中新型コロナウイルス感染が拡大したものの、催事後半巻き返す。体験型アトラクションは滞在時間が長く、地元客に好評であった。</p> <p>(2) <b>臨海公園連携イベントについて (4月100人、10月2,053人、12月29人)</b> イルミネーション(12月)は天候の影響もあるが参加者数が頭打ちの状態。広報の工夫が必要。芝桜・牡丹クイズラリー(4月)、秋の感謝祭(10月)は賑わい創出が図れた。</p> <p>(3) <b>道の駅・老龍頭の利用促進について (4月1,500人、10月1,500人)</b> 有名スイーツ店の出店、ご当地菓子パン販売などを働く車など催事と併せて実施。地元折り込み広告(範囲拡大)の効果もあり集客を図る。更なる周知には継続が必要。</p> <p>(4) <b>広報事業の強化・HPの更新について</b> SNSを活用したコスプレ写真投稿キャンペーンを実施。情報の拡散効果あり。一方、水光熱費の高騰などによる収支状況を鑑み、公式HPのリニューアルは見送った。</p>
<p><b>3 令和5年度に取り組む重点項目</b></p> <p>(1) <b>夏休み特別イベント「世界の大昆虫展(仮称)」(30日間)</b> 昆虫展示、体験コーナー、標本展示</p> <p>(2) <b>燕趙園通常営業の広報強化</b> 燕趙園公式HPのリニューアルにより情報発信力を強化。特に庭園、中国雑技ショーやチャイナドレスレンタル等の通常コンテンツ発信に取り組む。</p> <p>(3) <b>臨海公園連携イベント</b> 4月芝桜・牡丹クイズラリー、10月秋の感謝祭、12月イルミ連携企画 3月春のこどもまつり</p> <p>(4) <b>中国関連団体との連携イベント</b> 中国文化センター共催の展示会「現代中国風刺漫画作品展」を展示室にて開催。</p>
<p><b>4 令和5年度その他の取組項目等</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 中華コスプレ大会</li><li>(2) 地域連携のウォーキング大会等(ガストロノミーウォーク、天女ウォーク)</li><li>(3) 山陰・山陽花めぐり街道協議会</li></ul>
<p><b>5 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 燕趙園入園400万人記念セレモニー(8~9月)</li></ul>

# 令和5年度 鳥取二十世紀梨記念館事業計画

<p><b>1 管理運営の基本方針</b></p> <p>(1) 利用者へのサービスの提供と利用促進 お客様の視点に立ったサービスや、展示内容・梨に関する専門専門的な説明などガイド機能の充実、県産梨の消費拡大への寄与</p> <p>(2) 観光振興への寄与 中部地域の観光関係団体等と連携した営業活動、ホームページや SNS を通じて「梨産地鳥取」を広く PR</p> <p>(3) 果樹の振興 梨の食べ比べ、県産果実試食会による県産果樹の情報発信 鳥取梨づくり大学の開講、梨の何でも相談室の常設による梨生産者への情報提供</p>
<p><b>2 令和4年度重点項目の成果等</b></p> <p>(1) 「梨」企画展 梨に関するイラスト・パネル展示に加え、会場の空間プロデュース、ライブペインティングなど作品展+αの内容で実施 作品展を目標にした新規の方やリピーター、関連グッズ販売</p> <p>(2) 晩生梨まつり 晩秋から冬にかけての晩生梨の魅力発信、認知拡大と販売促進をねらい、冬には「コタツで梨」と PR、晩生梨食べ比べセットの販売</p> <p>(3) 体験型イベント 梨づくり体験として春に新規で交配体験を実施した。説明の仕方など改善点もあったが、幅広い年齢層の方々が参加。</p> <p>(4) SNS活用の強化 イベント情報、梨の知識や販売に関すること、梨ガーデン情報、地域情報など多種多様な情報発信に努め、コンスタントにフォロワー数が増加。</p>
<p><b>3 令和5年度に取り組む重点項目</b></p> <p>(1) 梨に関するアート展 展示に絡めたイベント等プラスα要素を取り入れ夏の恒例事業へと定着化</p> <p>(2) 梨販売力の強化 ネット通販の手法等見直し、新規格等の検討</p> <p>(3) 館内撮影スポットの整備 カメラ台や照明設置など撮影スポットの環境整備 薄暗い館内を有効活用して冬季に室内イルミネーションの実施。</p>
<p><b>4 令和5年度その他の取組項目等</b></p> <p>(1) ジョイント栽培コンクールの開催（鳥取大学・鳥取県・全農鳥取・梨記念館）</p> <p>(2) 梨づくり大会の開催（主催：鳥取県・全農鳥取・梨記念館）</p> <p>(3) 梨づくり大学の開催（鳥取大学公開講座との共催含む全12回）</p>
<p><b>5 その他</b></p>



## 令和5年度 夢みなとタワー事業計画

### 1 管理運営の基本方針

#### (1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

お客様目線でのサービスの充実、魅力あるイベントの開催による集客の促進

#### (2) 観光振興への寄与

- ・鳥取県及び環日本海諸国を中心とする自然、歴史、文化の紹介や情報発信
- ・地域連携イベント等を通じた賑わいの創出による観光振興

#### (3) 周辺施設との連携による賑わいの創出

- ・周辺施設、関係機関との連携により、竹内地区の賑わいを創出

### 2 令和4年度重点項目の成果等

#### (1) 新日本海新聞社と連携した大型イベントの開催

- ・春 イベント自主開催を計画も、オミクロン株拡大につき中止
- ・夏 大型イベントで約2万人を集客。感染拡大の最中であったが黒字確保。

#### (2) イベントの充実

- ・コロナの影響で拡充予定であったイベントは現状維持や縮小開催に留まる。
- ・小回りの利く中小イベントは回数を増やして集客に成功。

#### (3) 周辺環境の変化への対応

- ・物販施設とのイベント共催など運営事業者との連携強化（現在部分開業中）
- ・クルーズ船再開後の境夢みなとターミナルとの連携強化（R2年度寄港無し）

### 3 令和5年度に取り組む重点項目

#### (1) 春・夏2回の大型イベントの開催

- ・春 タワーが主催となり、独力で新聞社主催時と同等の大型イベントを実施
- ・夏 日本海新聞社との共催で大型イベントを実施。大人の集客にも取り組む。

#### (2) イベントの充実

- ・コロナの影響で中止または縮小していたイベントを見直し規模を拡大して実施。
- ・共催イベントの対象拡大、連携先の模索等

#### (3) 周辺環境の変化への対応

- ・物販施設とのイベント共催など運営事業者との連携強化
- ・クルーズ船再開後の境夢みなとターミナルとの連携強化
- ・サイクリングイベントの共同開催

### 4 令和5年度その他の取組項目等

#### (1) 次期指定管理応募の準備

- ・利用者アンケートの回収数を大幅に増やして、結果を提案書に盛り込む。
- ・施設管理費の節減に向けたロボットやIOTの導入テストの実施。

### 5 その他

全体として、引き続き利便性の向上策や魅力づくり策に取り組む。

## 令和5年度 とっとり花回廊事業計画

### 1 管理運営の基本方針

#### (1) 利用者へのサービスの提供と利用促進

利用者の立場に立ったサービスや新規の植栽の見どころをつくり庭園の魅力を高め、各種イベントの充実と地域と連携した展示や発表の機会を拡大

#### (2) 観光振興への寄与

花をテーマとしたショーガーデンとして、植栽テーマを持ったクオリティの高い庭づくりを実施

#### (3) 県内花き園芸の振興への寄与

県内優先調達による花き生産者の生産の安定や関係機関と連携し生産者の技術指導を実施。県産切花展示の実施などPRにも注力する。

### 2 令和4年度の成果・課題

#### (1) 年間テーマ「Happiness ～幸せの花空間～」

R3年度の「Smile」に続き、年間の園のテーマを「Happiness」としてお客様に幸せな気分を感じていただける展示を実施した。縁起の良い植物や幸せを呼ぶフォトスポットなどを設置して幸せの空間を演出した。

#### (2) 園内魅力づくりの取り組み

植栽展示において、「既存の強みの強化」、「家族連れ・若年層への魅力強化」、「見るプラスα」の観点での園内の魅力づくりを3年計画で取り組んでおり、R4年度は手作り遊具類を設置した自然に親しむ広場の一部供用を開始した。また自然散策ゾーンの整備、トピアリーゾーンの造成、バラ園のリニューアルなどその他のエリアの充実もオープンに向けて準備を進めた。

#### (3) WEB関連の発信力強化

YouTube やインスタグラムでの動画を活用した情報発信を継続的に実施するとともに、制作技術の向上やドローンなどの撮影機器の活用も開始した。また、SNSの登録者を増やすキャンペーンを実施してPR効果を高めた。

#### (4) デジタル化の推進

車両ナンバー認識システムを導入し、情報発信の効果測定やイベント開催などでの有効活用が期待できる来場者の地域や滞在時間のデータを効率的に収集できるようになった。また、友の会のオンライン入会制度を開始し手続き業務の効率化を図った。

#### (5) 花を使用した新メニューの提供

レストランにおいて鳥取県産エディブルフラワーが入った日本初登場のパスタを使用した新メニュー「フラワーパスタのランチ」を提供を開始した。

#### (6) 物価高騰による影響

全国的な物価高騰により光熱費をはじめ、花苗、園芸資材、材料費など広範囲で値上がりしており、収支悪化の要因となっている。

### 3 令和5年度新たに取り組む重点項目

#### (1) 年間テーマ「Memory ～花で彩る瞬間～」

R4年の「Happiness」に続き、年間の園のテーマを「Memory」として親子、友人同士などをターゲットにしたイベントの開催、花に囲まれたフォトスポット、来園者が直接体験できる要素を園内に設けるなど年間を通じて来園者の記憶に残る花で彩られた空間を演出する。

#### (2) 園内魅力づくりの取り組み

植栽展示において、「既存の強みの強化」、「家族連れ・若年層への魅力強化」、「見るプラスα」の観点で、園内の魅力づくりに3年計画で取り組む。

R5年度は3年計画の最終年度になり、自然散策ゾーンの整備、R4に一部供用を開始した自然に親しむ広場の造成やトピアリーゾーンの造成、バラ園のリニューアルをR6のオープンに向けて準備を進める。

#### (3) 体験メニューの充実

人気のある園内外での寄せ植え体験や花の抜き取りイベント、R4年度から提供を開始したフラワービンゴに加えて、新たに専門業者と共同で制作し若年層から家族連れまで通年で楽しめる謎解きイベントを実施する。また、園芸ショップでは好みの植物や鉢などを選べる寄せ植え体験セットの販売を開始する。

#### (4) WEB関連の発信力強化

YouTube やInstagramの動画発信では、外部制作の積極的な活用やショート動画を積極的に公開する。R4年度に導入したドローンの活用も拡大し、広大な園内をドローンならではの視点で紹介するとともに撮影技術の向上や職員への技能共有を実施する。また、LINEも含めたSNS上のキャンペーンを企画して登録者数の増加とPR効果の向上を図る。

#### (5) 社会状況に合わせた運営

花の充実期やイルミネーションの繁忙期と花が少なく屋外施設に不利な夏などの閑散期を意識したメリハリのある予算執行を行う。また、光熱水費をはじめ、花苗、園芸資材、材料費など広範囲な物価高騰による影響を考慮した経費節減や収入確保の対策を実施する。また、コロナ禍が影響を及ぼす動向に合わせた集客促進対策を継続しつつ、収束時には旅行需要の高まりを逃さないよう広範囲に観光客に取り込みを図る。

### 4 令和5年度その他の取組項目等

- (1) 皆生温泉との連携（皆生花壇事業の継続、PR事業の連携）
- (2) 周辺市町村との連携（なんぶ町民花火大会、二十歳の集い、ウォークラリー等）
- (3) 花とみどりのフェア（鳥取県造園建設業協会西部地区主催事業）
- (4) 花のまつり等（鳥取県花卉振興協議会主催事業）
- (5) 米子高専との連携（手作りベンチ制作、イルミネーションでの演出等）
- (6) 山陰・山陽花めぐり街道協議会
- (7) 駐車場・ステージのイベント利用の促進と連携
- (8) フラワーイルミネーションの実施（自主施工中心で実施、電子制御による演出）

### 5 コロナ感染継続時の対応

第4期指定管理の事業計画に沿った魅力づくり事業は、原則変更なく事業を進める。

広報、イベントは感染拡大状況・社会の景気動向に合わせて、ターゲットエリアや規模を変更するなど、適宜見極めをしながら実施していく。

その他の施設管理・植栽業務等においても経費節減に努め、効率的な運営を行う。